

洛陽工OB 技能五輪で金

洛陽工業高（京都市南区）出身の森野陽気さん（21）＝埼玉県朝霞市＝が、10月に英国ロンドンで開催された若手技術者の「技能五輪」（国際技能競技大会）に日本代表で出場し、情報ネットワーク施工部門で金メダルを獲得した。京都の関係者も「高校生の励みになる」と快挙を喜んでいる。

技能五輪日本代表のユニホームに金メダルを下げ、高校生たちの前で京都市教育委員会の特別賞を受ける森野陽気さん（21日、京都市中京区・市役所）



配線設計、施工 英国で若手競う

技能五輪は22歳以下を対象に隔年で開催している。今年は10月4日から6日間行われ、46職種に48カ国・地域の約930人が出場した。情報ネットワーク施工部門は光ファイバー施工やLANの配線設計・施工の技能を4日間計22時間かけて11カ国の11人で競った。森野さんは全競技を規定時間内に完了し、光ファイバー接続などで2位以下を引き離れた。「競技前、部材が急に變更されることもあったが、焦らず対応できたという。森野さんは洛陽工業電子情報科を2008年3月に卒業し、現在は情報通信建設会社に勤務して

頑張る心 後輩励みに

いる。昨秋の技能五輪の全国大会で優勝し、中央職業能力開発協会が派遣する日本代表に選ばれた。京都市教育委員会は森野さんに特別賞を贈り、今月2日にあった市立学校文化芸術賞の表彰式で「京都の高校生の目標となってくれた」とたたえた。洛陽工業高の恩田徹校長は「生徒たちに折れない心で頑張る姿勢を見習ってほしい」と話した。森野さんは、高校時代に卓球部の主将を務めた経験が「全体を見渡す力や練習メニューの組み立てに役立った」と振り返り、「社会人に何が必要なのか高校時代には分かっていないが、心構えだけは学校でしっかり学んだ」と後輩たちにアドバイスを送った。

（鈴木雅人）